関西・大阪21世紀協会 「グランドデザイン」 作成の流れ

1970 EXPO '70

理　念

《第1次》 大阪21世紀計画 グランドデザインの基軸	《第2次》大阪21世紀計画 新グランドデザイン	《第３次》 大阪21世紀計画　グランドデザイン	《第４次》 大阪21世紀計画　グランドデザイン	《第５次》 大阪21世紀計画　グランドデザイン
1982　1991	1992　2002	2003　2016	2017　2021	2022　2026

- 1982–1991：大阪21世紀協会 設立（1982）
- 2003–2016：組織改革 事業改革
- 2013：協会設立30周年
- 2013：公益法人認定（2012）【内閣府】「関西・大阪21世紀協会」（名称変更）
- 2017–2021：協会設立35周年
- 2017–2021：上方文化芸能事業　承継５周年
- 2017–2021：万博記念基金事業　承継５周年
- 2017–2021：アーツサポート関西　創設５周年
- 2022–2026：協会設立40周年
- 2022–2026：上方文化芸能事業　承継10周年
- 2022–2026：万博記念基金事業　承継10周年
- 2022–2026：アーツサポート関西　創設10周年

《第1次》
- ・世界都市　大阪
- ・ヤマ場方式

《第2次》「文化立都宣言」
- ・博物館都市
- ・劇場都市
- ・競技場都市

《第3次》
- ・3つの指針
- ・8つの都市像

2009 府・市撤退

2013 上方文化芸能協会

2014
- ・万博記念基金事業　承継（※）参照
- ・アーツサポート関西　創設

1983
- ・築城400年まつり
- ・御堂筋パレード開始

1990 国際花と緑の博覧会

1994 関西国際空港開港

2000 2001 世紀越えイベント

2008 御堂筋パレード中止

2009 水都大阪2009 シンボルイベント

2017 食博覧会大阪

2021 東京オリンピック・パラリンピック

2021 食博覧会大阪（中止）

2025 大阪・関西万博

2025 食博覧会大阪

2027 ワールドマスターズゲームズ

グランドデザイン　第4次

理念（継承）
「文化立都」の創造と発信

視　　点
- ・21世紀の危機
- ・史上、前例のない試練
- ・文化こそ生き抜く力
- ・地域活性化の好機
  ―連携と協奏をめざして

関西・大阪が目指す方向
―5つの行動指針―
- ・日本人の心を伝える
- ・文化の担い手を育てる
- ・文化による経済の活性化
- ・文化プログラムの戦略的推進
- ・新たな広域文化経済圏の提示

協会の役割
- ・理念の継承
- ・機運醸成
  コーディネーター、ファシリテーターの役割
- ・広域的公益活動の結節点
  オーケストレーション・コア

事業計画

助成と顕彰
- ・万博基金により国際相互理解に貢献
- ・次世代の人材育成
- ・寄付文化の醸成

関西・大阪ブランドの発掘と発信
- ・シンポジウム開催等による発信
- ・関西・大阪「和食」文化の発信

伝統の進化と創造
- ・東京オリンピックパラリンピック文化プログラム　関連事業
- ・コラボレーションによるまちづくり
- ・上方文化芸能の推進
- ・広域活動支援

«目標»

- ●関西・大阪5か年の文化戦略
- ●3万件のイベント、3000万人の参加、30万人の発信者

グランドデザイン　第5次

理念（継承）
「文化立都」の創造と発信

期間を取巻く環境
- ・世界と日本の現状と課題
- ・関西・大阪の現状と課題
- ・関西・大阪の文化芸術の現状と課題

目指すべき行動指針の提唱
- ・日本人の心を伝える
- ・文化の担い手を育てる
- ・文化による経済・社会の活性化
- ・広域的公益活動
  ―オーケストレーションコア―

コロナ後の新しい流れへの対応
- ・コロナ後の価値観の提示
- ・コロナ禍での文化力の再認識
- ・行動様式の変化と新たな方式の展開

行　動　計　画

理念の継承
- ◆第4次グランドデザイン総括と展望
- ◆組織の原点を踏まえた周年プログラムの推進

助成と人材育成支援
- ◆万博基金事業による助成と奨学金による人材育成
- ◆大阪文化祭賞等による顕彰
- ◆アーツサポート関西によるアーティスト支援
  ・伝統文化の後継者育成への継続支援
- ◆次世代人材育成

関西ブランドの発掘と発信
- ◆食文化、歴史等の情報発信
  ・映像化、シンポジウム　等

伝統と進化の創造
- ◆上方文化芸能および伝統行事の保護育成
- ◆「食博2025」への取組み

結節点機能の遂行
- ◆他の文化団体、文化拠点との連携とネットワーク化の推進
- ◆自治体間、各種団体間の仲立ち、広域活動支援

2025万博の機運醸成と連携
- ◆関西・大阪の芸術・文化・食文化と観光との連携促進
- ◆2025万博の機運醸成
- ◆2025万博プログラムとの連携
- ◆中之島での文化芸術活動への参画と連携

（※）　日本万国博の意義「開催意図」《抜粋》

日本万国博がめざしたものは、世界にはさまざまな文明が多元的に共存することを、理解と寛容の精神によって認め、それらの多様性の調和の中にこそ進歩が望まれなければならない、という「調和的発展」の精神であった。これは東洋思想の「和」の心を現代世界に呼戻して、東西を結ぶ新しい理念として発展させようとするものであった。